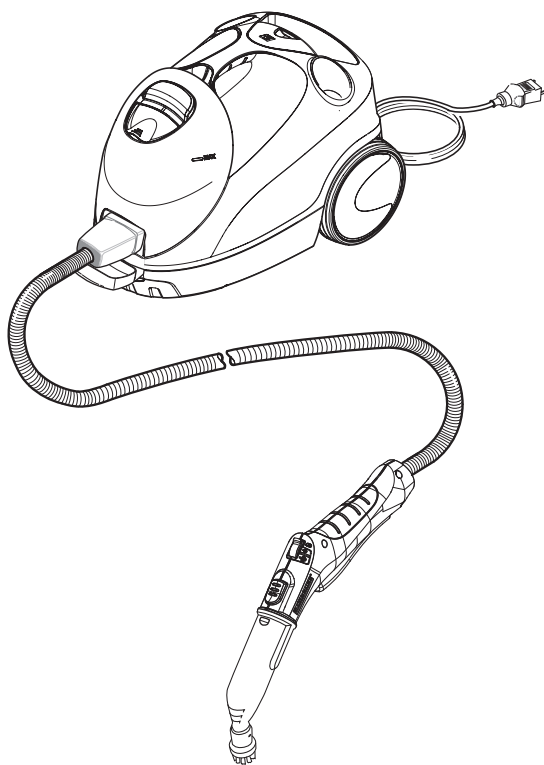


ケルヒャー家庭用スチームクリーナー SC 4.100 C 取扱説明書



はじめにお読みください

ご使用時の注意点

スチームクリーナーとは？

組み立て方

準備しましょう

使い方

お手入れ・点検・保管

故障かな？と思ったら

補修部品・オプション

アフターサービス・保証

はじめにお読みください

「仕様一覧」

■この度は、ケルヒャー家庭用スチームクリーナーをお買い上げいただき誠にありがとうございました。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

※この製品は業務用ではありません。

※この製品は組み立てが必要です。

※この製品はテスト後出荷されているため、水分が多少残っている場合がございますが、製品の性能に問題はございません。

SC 4.100 C 仕様一覧	
電源	100V 50／60Hz 共用
ヒーター出力	1,500W
スチーム吐出圧力	0.35 MPa (※1)
安全弁作動圧力	0.55～0.65 MPa (※1)
ボイラー加熱温度	139℃
ボイラータンク容量	0.5リットル
給水タンク容量	1.0リットル
ヒートアップタイム(加熱時間)	約4分 (※2)
寸法(長さ×幅×高さ)	384×241×275mm
質量(本体のみ)	4.2Kg
<交換時間>	(※3) (※4)
メンテナンスキャップ用 O リング	約200時間(約200回使用)
メンテナンスキャップ	約500時間(約500回使用)
本体寿命	約1000時間(約1000回使用)
定格使用時間	2時間(※5)

※1 1MPa=10.2kg f/cm²

※2 水温20℃の際の仕様

※3 作業累計時間

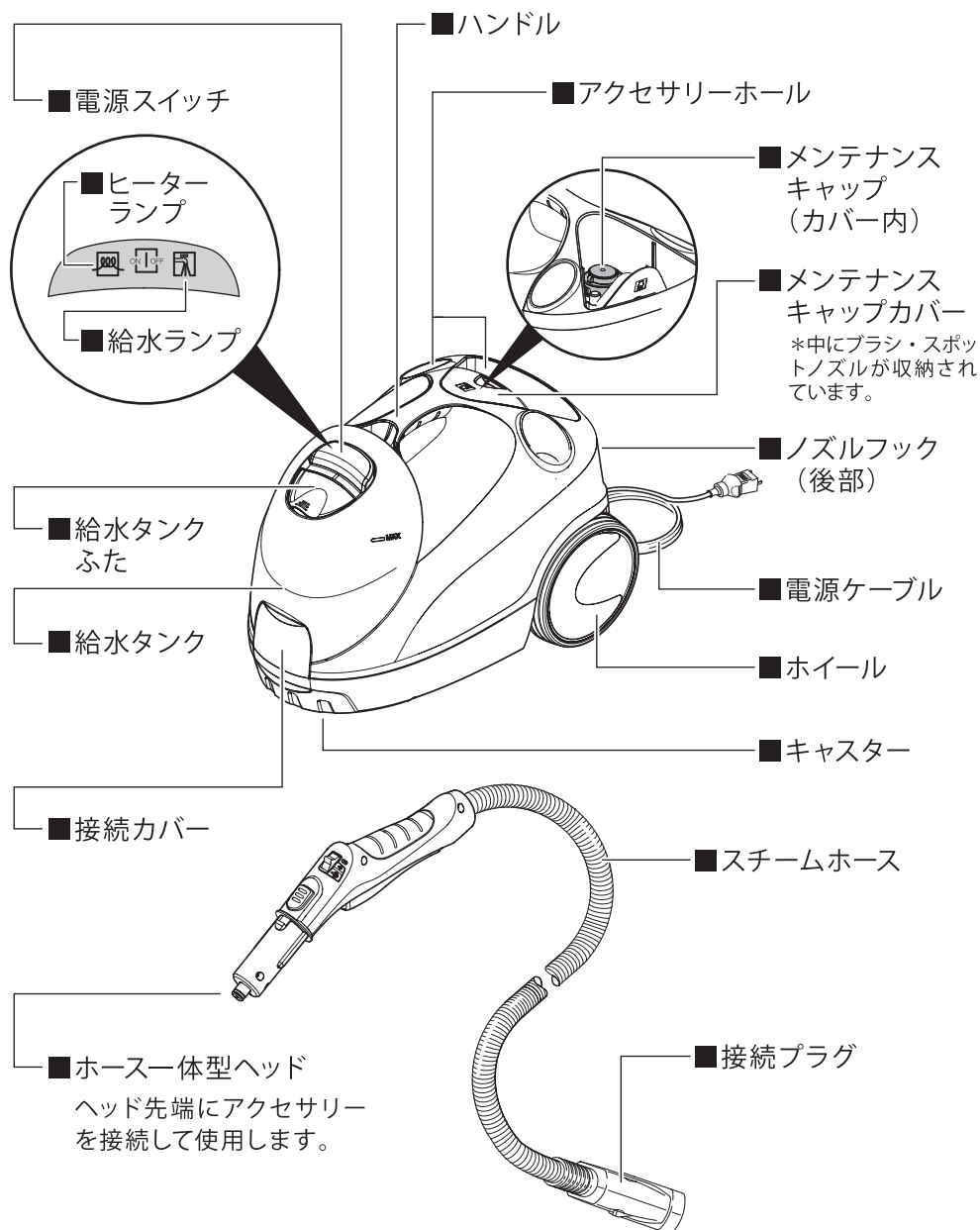
※4 1回の作業で1時間使用した場合の回数

※5 定格使用時間=電源スイッチが入っているときの合計時間

はじめにお読みください…製品仕様	・仕様一覧 ・各部の名称と機能 ・組み立て前の部品一覧
ご使用時の注意点…正しくご使用頂くために	・注意点と絵の表示について ・ご使用時の警告 ・電気に関する警告 ・ボイラー洗浄剤について
スチームクリーナーとは?…説明と各種洗浄方法	・スチームクリーナーのご説明
組み立て方…本体の組み立てと準備	・ホース一体型ヘッドの取り付け、給水
準備しましょう…各種準備について	・電源とヒートアップ
使い方…各種使用方法	・きれいにする場所に合せてアクセサリーを選びましょう ・作業を中断、終了する場合 ・ボイラーの排水、メンテナンスキャップの確認 ・フロアノズルの使用方法
お手入れ・点検・保管…各種注意点	・お手入れとすすぎ ・ボイラーの洗浄方法 ・点検と保管
故障かな?と思ったら…状況に応じた対処法	・各種原因と対処方法について
補修部品・オプション…別売りのアクセサリー	・補修部品一覧 ・オプションアクセサリー一覧
アフターサービス・保証…お問い合わせ先・保証内容	・保証書

はじめにお読みください

各部の名称と機能



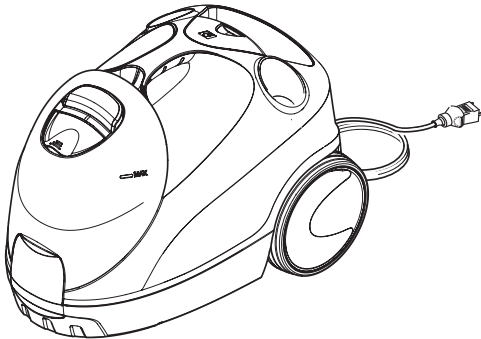
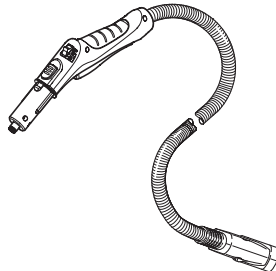
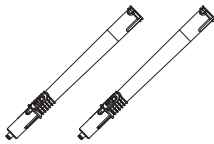
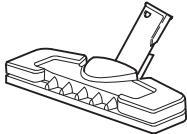
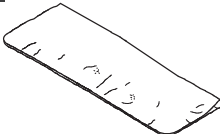
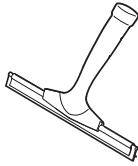
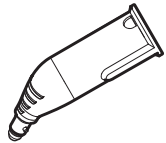
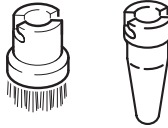


はじめにお読みください

組み立て前の部品一覧

※本機をご使用いただく前に、全ての付属品がそろっていることをご確認ください。

※仕様変更により製品の形状と図が一致しない場合があります。

1		2	
本体		ホース一体型ヘッド 1 式	
3		4	
延長パイプ 2 本		ハンドブラシ 1 個	
5		カバー 1 枚	
6		7	
フロアノズル 1 個		クロス 1 枚	
8		窓用スクイジー 1 個	
9		10	
ノズルヘッド 1 個		ブラシ・スポットノズル 各1個 *メンテナンスキャップカバー内に 収納されています。	
11	 RM 511 3本 ボイラー洗浄剤 (スケール除去剤)		

ご使用時の注意点

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定されている内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されている内容」を示しています。



の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示しています。



の記号は「必ず実行してほしいこと」を示しています。



注意

洗浄は自己責任で行うこと

万一洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

ご使用時の注意点



子供には触らせないこと

ケガをする恐れがあります。

改造禁止

火災、感電、ケガの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を取り付けて使用しないでください。

火気のそばに置かないこと

本体が変形し故障や火災につながる恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと

感電する恐れがあります。



本体、電源プラグに水をかけないこと

感電やショートする恐れがあります。

スチームを人体に向けて使用しないこと

ヤケドの原因になります。

異音、異臭、過熱時は直ちに使用を中止すること

本体の異常を感じたら直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。

雨天時に野外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと

絶縁、劣化により感電やショートの恐れがあります。

スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと

感電する恐れがあります。

汚染された可能性のある場所を洗淨する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること

汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。



修理はケルヒャー ジャパン本社修理センターに依頼すること

個人の修理で生じたケガ、事故、不具合に関しては一切の責任を負いません。
補修部品の販売はいたしかねます。

フロアノズルは逆にして使用しないこと

フロアノズルはパイプを下向きにすると外れるため、スチームが漏れてヤケドを負う恐れがあります。フロアノズルのパイプ部分は必ず上向きに使用してください。

電気に関する警告



タコあし配線はしないこと

複数の電気製品（パソコン・電子レンジ・ドライヤーなど）を同じコンセントで使用した場合、電源ケーブル、コンセントや屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

コードを引っ張らないこと

引き抜くときは先端のプラグを持ってください。コードが損傷すると、感電やショートを起こし火災を引き起こす恐れがあります。

電源プラグは確実に差し込むこと

コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

電源プラグが変形している場合は使用しないこと

電源プラグが変形していたり、電源プラグの歯が曲がっている場合は、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

本製品は1500W 仕様です

他の電気製品と同じコンセントを共用できません。
洗面化粧台のコンセントでは使用できません。



交流100V 単相電源専用

異種電圧で作動させた場合、火災の恐れがあります。
ラベルに記載された電源でご使用ください。

延長コードは15アンペア仕様を使用し、10m以上延長しないこと

規格以下の延長コードを使用した場合、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。15 A 以上の規格のものを最長10mでご使用ください。

コードリールは完全に伸ばして使用すること

コードリールのコードを巻いたまま使用すると、コードリール、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

ご使用時の注意点



警告

故障時にメンテナンスキャップが作動することがあります

スチームクリーナーには安全装置としてボイラー圧力が高くなるのを防ぐための圧力逃がし弁がメンテナンスキャップに組み込まれています。

万一の故障時や定期メンテナンス不備によるボイラー内部へのスケール付着などによりボイラー内部の圧力が異常に高くなった場合、メンテナンスキャップの圧力逃がし弁が作動しスチーム（蒸気）を勢よく上方に吹き上げます。

絶対にメンテナンスキャップの上で作業を行ったり、近づいたり、覗き込んだりしないでください。ヤケドの恐れがあります。



メンテナンスキャップは使用中触らないこと

使用中は絶対にメンテナンスキャップの上に手を当てたり、覗き込んだり、外したりしないでください。

ボイラーが故障した場合スチームを噴出する場合があります。

メンテナンスキャップを開ける場合は、十分冷めてから行うこと

メンテナンスキャップは使用中や停止後、本体が熱いうちは手を触れないでください。（スイッチを切った後3時間以上放置してください。）

熱い状態で開けた場合湯が噴き出し、ヤケドの原因となります。

メンテナンスキャップのOリングを確認すること

電源を入れる前に確認をしてください。

Oリングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。

500作業時間ごとに定期点検を実施すること

例：1日に合計2時間程度使用する場合、半年を目安に有償点検の実施が必要です。

点検を実施しない場合メンテナンスキャップからスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じ、安全作業ができなくなります。また、点検を実施しない場合スチームが噴出しヤケドをする恐れがあります。点検を依頼してください。

作業場所から離れる場合はスイッチを切ること

使用方法を知らない方が操作された場合、ケガをする恐れがあります。

常温水を使用すること

お湯を入れた場合、機器が正しく作動せず、ヤケドを負う場合があります。

安全上必ず常温水を使用してください（20度以下）。





注意

アクセサリ接続口の O リングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと

スチームがもれてヤケドの原因となります。

クロスクリップに指を差し込まないこと

クロス脱落防止のためクリップは鋭くなっています。

指を差し込まないでください。

本体を倒したり、立てた状態で使用、また保管したりしないこと

ボイラーが損傷する場合があります。

熱に弱い床材の上で使用しないこと

熱で変形・変色する場合があります。



ガラス製品に傷がある場合は洗浄しないこと

割れる場合があります。

蒸留水は使用しないこと

給水ポンプが誤作動し水があふれる原因となります。

水以外の液体は絶対に使用しないこと

溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）、アルカリイオン水、酸性水、雨水などを使用しないでください。使用した場合本体が壊れる場合があります。水道水のみで使用してください。

水道水のみで使用してください

洗剤や薬品・香水を入れないこと

洗剤や薬品・香水を入れた場合、ボイラーの破損、薬品火傷、健康に悪影響を及ぼす場合があります。水道水のみでご使用ください。

スチームホースを無理に引っ張ったりねじったりしないこと

スチームホースが損傷します。



タンクは常に水がある状態で使用すること

タンクの水がなくなると使用できなくなります。

必ずタンクに水を入れた状態でご使用ください。

給水は必ずタンクから行うこと

ボイラーに直接水を入れた場合誤作動します。タンクへ給水してください。

タンクにゴミなどが入らないようにすること

給水ポンプの動作不良が生じる場合があります。

ご使用時の注意点



アクセサリーは確実に取り付けること

確実にロックされていない場合スチームがもれ、ヤケドの原因となります。

手袋などの保護具を着用すること

作業時は手などに直接スチームがかかる場合や、汚れがはね返る場合があります。ヤケドやケガの防止のため適切な保護具を身に着けてください。

ガラス製品、窓ガラス、鏡の掃除には注意すること

● 2秒以上同じ場所にスチームをあてないでください。

● ワイヤ入りガラス、厚板ガラスの掃除は特にご注意ください。

ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があります、ケガをする恐れがあります。

洗浄前に材質を確認すること

洗浄の前に必ず洗浄物の材質を確認してください。

スチームは99℃近い温度で出ます。

洗浄部分の材質によっては変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。

目立たない部分で試してください。

レバーロックをかけること

アクセサリーの着脱はレバーをロックした状態で行ってください。

ロックしていない場合スチームレバーに誤って触れスチームが噴出しヤケドを負う場合があります。

本機は使用50時間ごとにボイラー洗浄（スケール除去）を行うこと

スケール（湯あか）がたまると故障の原因となり、安全弁が作動する場合があります。必ず純正ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を用い定期的にボイラーの洗浄（スケールの除去）を行ってください。

本体が十分に冷めた後に残留水を捨てること

本体の電源を切り3時間以上放置してください。ボイラーが約60度まで下がります。メンテナンスキャップを延長パイプで開け水を捨ててください。

本体が熱いうちにメンテナンスキャップを開けると、お湯が噴き出しヤケドを負う場合があります。

凍結する場所には保管しないこと

凍結した場合、ボイラーが故障します。

違和感や熱いと感じたら

スチームレバーを握り続けて使用すると低温ヤケドを負う場合があります。

違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止してください。

◎ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）について

名称	RM 511 ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）
用途	スチームクリーナーのボイラー洗浄（スケール除去）用
成分	スルファミン酸、マレイン酸、L 酒石酸
液性	強酸性
内容量	3 本

使用上の注意



警告

- 吸入・飲用不可：人体に害があるので飲まない、吸引しないこと
- 皮膚の弱い人はかぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用すること
- 子供の手の届かない所に保管すること



注意

- ボイラー洗浄剤は純正品を使用すること
- ボイラー洗浄剤を入れた状態で加熱しないこと
- ボイラー洗浄剤を給水タンクに入れないこと
- メンテナンスキャップをボイラー洗浄剤で洗浄しないこと
- 用途以外には使用しないこと
- 使用方法およびスチームクリーナーの取扱説明書をよく読んで使用すること
- ボイラー洗浄剤をこぼしたり、皮膚につけないこと
- 湿度、凍結を避け、冷暗所に保管すること

応急処置

- 飲み込んだ場合は、口の中をすすいでください。直ちに医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合は流水で15分以上目を洗ってください。症状がある場合は医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付いた場合は大量の水と石鹸で洗い流してください。
- 薬品を吸い込んだ場合は新鮮な空気を吸い、体を休ませてください。

保管方法

- 湿度、直射日光や高温、凍結を避けて保管してください。

パッケージ

- プラ：カバー、PVC
- 紙：台紙

スチームクリーナーとは？

スチームクリーナーとは？

スチームクリーナーは圧力鍋としくみが似ています。

水を入れ、密閉したボイラーで約139℃まで熱し、スチームを発生させます。

吐出されるとき温度は約99度と高温でさらっとしたスチームが特徴です。

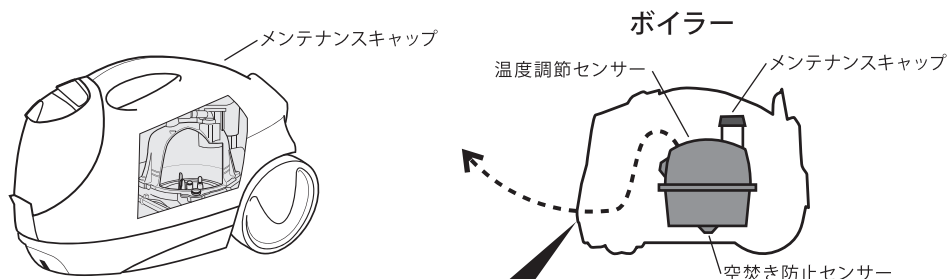
油污など温めると落ちやすい汚れに効果的です。

水分が少ないのでおうちの中のさまざまな場所でお使いいただけます。

※熱に弱い材質、壁紙、プラスチックなどは変形・はがれなどの恐れがあります。

目立たないところでお試しすることをお勧めします。

スチームクリーナーの基本の仕組み



安全設計4つのポイント

温度調節センサー

ボイラー内の温度が一定温度に達すると加熱を止め、温度が下がると再度加熱を繰り返すので異常加熱の心配がありません。

空焚き防止センサー

タンク内の水が無くなると、自動的に加熱を停止します。

メンテナンスキャップ

ボイラーに異常が生じた場合、ボイラーの内部圧力を逃がす役割があります。

手元スイッチ

手元のレバーを握ってスチームを出します。レバーを離すとスチームも止まるので安心です。



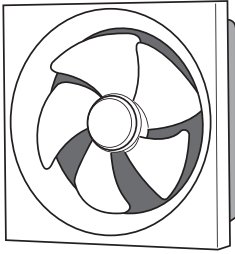
あると便利です

手袋
ホースやレバーが熱く感じる時

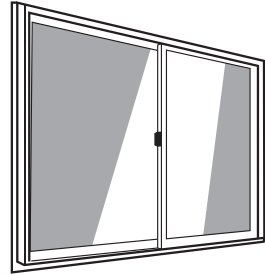
雑巾、雑布
スチームで溶かした汚れをふき取る時

家中さまざまなところに使えます。

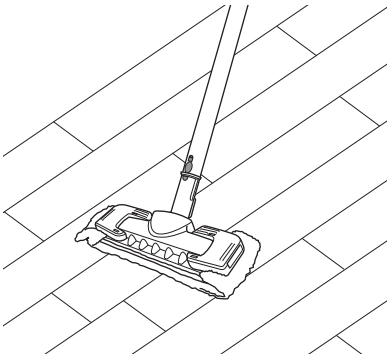
お台所のガスコンロや、
換気扇の油污れのお掃除に



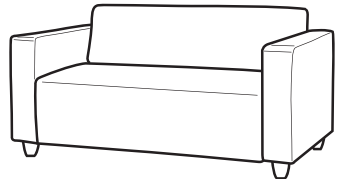
窓ガラスやサッシの
お掃除に



フローリングや畳の
お掃除もラクラク



ソファや車のシートなど
布製品のしみとりに



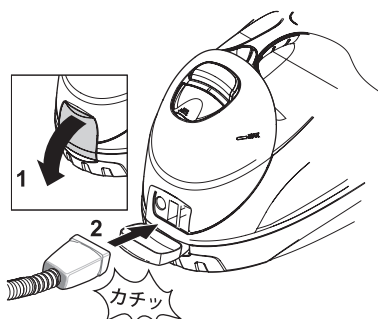
高温スチームの除菌能力について

ケルヒヤーのスチームクリーナーでフローリングを正しく掃除すると、一般家庭のバクテリアが 99.99% 除菌されます。(クロス・フロアノズル使用の場合)

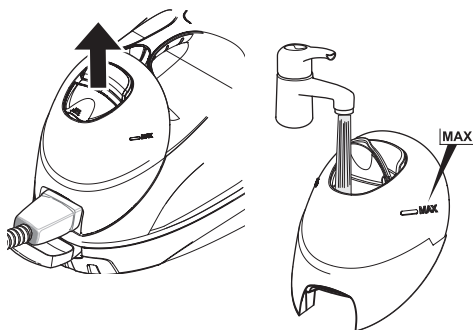
組み立て方

「ホース一体型ヘッドの取り付け、給水」

① ホース一体型ヘッドを本体に取り付けます



② 給水します



<取り付け方法>

スイッチを切ってください。

- 1 本体の接続カバーを開けます。
- 2 接続プラグの爪を下向きにし、本体の接続部分にしっかり差し込んでください。



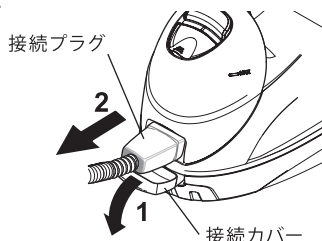
電源を入れる前にホース一体型ヘッドを本体に接続してください。
接続プラグ裏面の爪を、カバーにかか
るまで奥までしっかり差し込んでく
ださい。

<取り外し方法>

スイッチを切ってください。

3 時間以上放置してください。

- 1 接続カバーを下げます。
- 2 接続プラグを手で持ち引き抜いてくだ
さい。



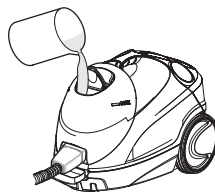
<タンクを外し給水する場合>

タンクを上引き抜いてください。

タンク内をすすぎ洗いし、タンクの MAX 印
(1リットル) まで水を入れてください。
タンクを元の状態に戻してください。

<直接給水する場合>

タンクのふたを開け、
タンクの MAX 印
(1 リットル) まで水
を入れます。
タンクのふたをし
てください。



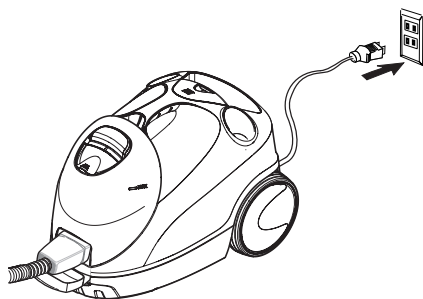
注意

- 常温水を使用すること (20度以下)
- 水以外の液体は絶対に使用しないこと
溶剤 (シンナーなど)、油 (ガソリン、
灯油など)、アルカリイオン水、酸性水、
雨水などを使用しないでください。
使用した場合本体が壊れる場合があり
ます。水道水 のみで使用してください。
- 蒸留水は使用しないこと
ボイラーから水があふれる原因となりま
す。
- 給水作業は必ずタンクから行うこと

準備しましょう

「電源とヒートアップ」

③ 電源プラグをコンセントに差し込む



電源プラグをコンセントにしっかり奥まで差し込んでください。



給水タンクに必ず水を入れてください。
空の場合動きません。

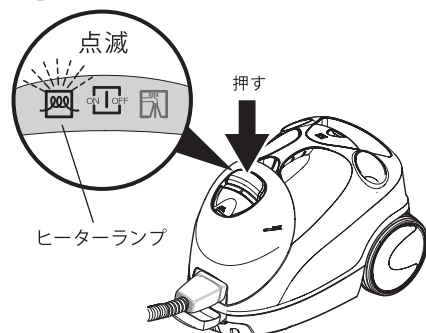


注意

本製品は1500W仕様です。

- 他の電気製品と同じコンセントを共有できません。
- 洗面化粧台のコンセントは使用できません。

④ スイッチを入れる

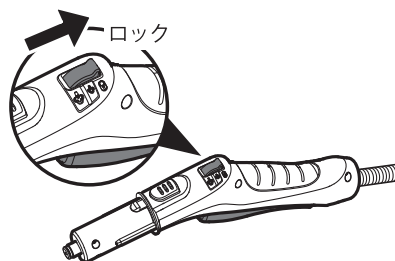


スイッチを押してください。
ボイラーに給水がおこなわれます。
(ブー・ブー・・・とポンプの作動音がします)
ヒーターランプ（グリーン）が点滅します。

- 使用中はスイッチを切らないでください。

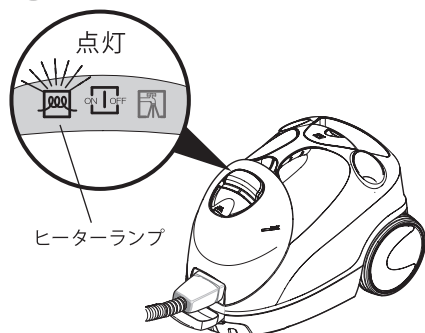


電源を入れる前に、必ずスチームレバーをロックしてください。



準備しましょう「電源とヒートアップ」

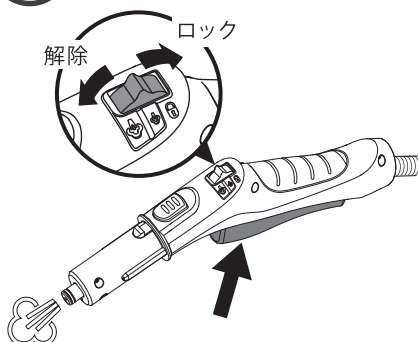
5 約4分後



約4分後ヒーターランプ（グリーン）が点灯に変わった後、使用を開始することができます。
使用中は常時ヒーターランプが点滅します。

※加熱時間は水温により異なります。

6 スチームを出す



スチームレバーロックを前方にスライドさせロックを解除します。

スチームレバーを握ると、スチームを出すことができます。



ロック

使用しない時、アクセサリーを交換する時は必ずロックしてください。



スチーム弱

スチームを弱くできます。



スチーム強

スチームが出る量が最大

ヒント

スチームの出が安定しない時は、30秒ほどスチームレバーを握ってください。



注意

■作業を始める時、中断した場合

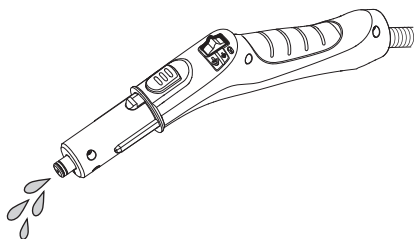
洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてスチームホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行うこと。

作業を中断（約1分以上）した場合、スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから吹き出る場合があります。

■本体を倒したり、立てた状態で使用しないこと

ボイラーが破損する場合があります。

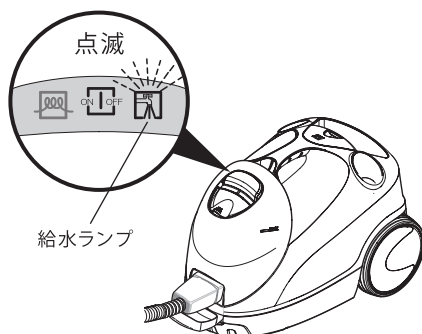
使い始めの注意点



使い始めは、お湯が出ます。洗浄を始める前にレバーをひと握りし、しっかりスチームが出る状態になってから必要なアタッチメントを取り付けましょう。(取付時には必ずスチームレバーをロックしてください)

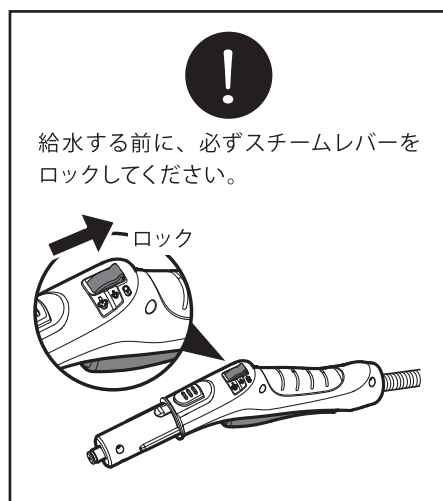
特に床掃除の時などは、それが原因で床がぬれてしまう事もあります。

給水ランプが点滅



使用中給水ランプが点滅すると、ブザーが鳴り（ピー）強制停止します。

スチーム調整レバーをロックし、タンクに給水をおこなってください。
(1リットル・20度以下)



給水方法は、P16「②給水します」を参照してください。

ヒーターランプが点滅している間は放置し、点灯に変わった後作業を続けてください。

使い方

「きれいにする場所に合せてアクセサリーを選びましょう」

サッシ
タイルのカビ
キッチンや
換気扇の
油汚れ

ソファ
網戸
レンジフード
車のシート

畳
フローリング
カーペット

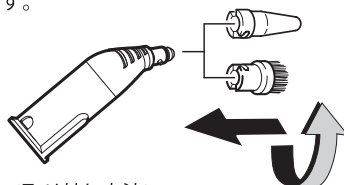
7

必ずスチームレバーのロックをして付け替えましょう。

ノズルヘッド+ブラシ、スポットノズル

＜取り付け方法＞

ノズルヘッド先端部の爪とブラシ・スポットノズルの刻みを合わせて差し込み、時計回りに回して固定します。

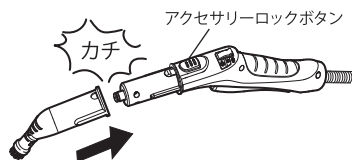


＜取り外し方法＞

ブラシ・スポットノズルを反時計回りに回し、引き抜いてください。

＜ノズルヘッドの取り付け方法＞

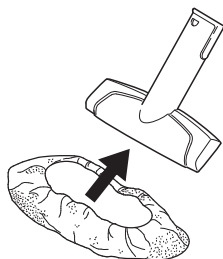
カチと音がするまで差し込みます。



＜取り外し方法＞

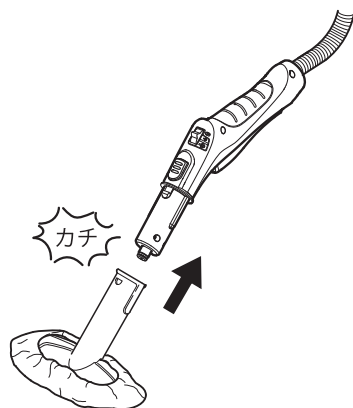
アクセサリーロックボタンを押しながら引き抜きます。

ハンドブラシ+カバー



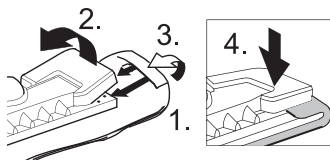
＜カバーの取り付け方法＞

ハンドブラシに被せて使用します。



フロアノズル+延長パイプ

※クロスクリップに指を挟まないこと



＜取り外し方法＞

クロスをフロアノズル幅にたたみ両側をクロスクリップで挟みます。

※フロアノズルの使用方法については P25 をご覧ください。



「スチームの温度は噴き出し口で約99℃です。材質や耐熱温度によっては使用できない場合があります。予め目立たないところでお試ください。」

サッシ



サッシレールの砂ぼこり、汚れはブラシをつけてこすります。細い溝の汚れはノズルヘッドで吹き飛ばします。

ガスレンジ周り



換気扇やガスレンジにこびりついた汚れは、ブラシにクロスを巻き付けてスチームを出しながらこすります。ブラシにクロスを巻きつけて使用すると、洗浄対象物を傷めません。汚れに洗剤をつけてから行うとより効果的です。頑固な汚れには、スチームを集中して出すことのできるスポットノズルをお使いください。

換気扇



ソファー



ハンドブラシにカバーを付けてやさしくなぞります。同じ場所に長く当てず、動かしながら使います。カバーがだんだん汚れてくるので交換しながら使いましょう。壁紙は熱でのりがはがれることがありますので、短時間で仕上げましょう。

車のシート



網戸



畳・カーペット・フローリング

フロアノズルにクロスを取り付け、スチームでクロスを温めて汚れを拭き取ります。

<ヒント>

スチームを出し続けるとクロスがぬれてきますので

①スチームレバーを3秒程握りクロスを温めます。

温まるとレバーを放して3秒程拭いて

この手順を繰り返します。

②スチームの吐出量が多い場合は、スチームレバーロックを

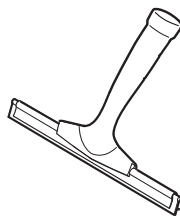
⇐弱にしてスチームの量を調整してください。

③クロスがぬれてきた場合はクロスを交換してください。



窓

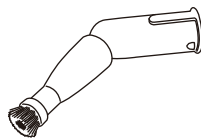
窓用スクイジー



窓にスチームを当て、ガラス全体に予熱を与え汚れを浮かせます。浮いた汚れをスクイジーを使い、上から下へきれいにします。

サッシ タイルのカビ キッチンや 換気扇の 油汚れ

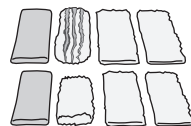
スチームターボブラシ (別売オプション)P33



ポイントブラシ先端が小刻みに振動するため、汚れをこする必要がありません。通常のブラシよりも、洗浄時間を50%短縮できます。

キッチン お風呂

マイクロクロスセット (別売オプション)P33

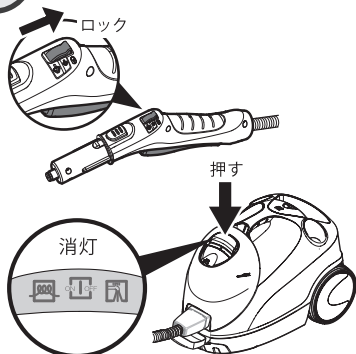


マイクロクロスファイバーは繊維がクロスの表面に無数の空間を作り、その空間に水分、汚れ、油分等を吸収し他に汚れを移さず、普通の繊維で落ちない汚れを洗剤なしで簡単に落とすことが出来ます。

使い方

「作業を中断、終了する場合」

⑧ 作業を中断する場合



＜作業を中断する場合＞

スチームレバーロックを後方にスライドし、ロックしてください。

スイッチを押し、電源を切ります。

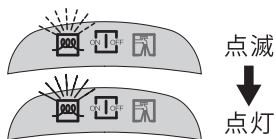
ランプが消えるのを確認してください。

＜作業を再開する場合＞

スイッチを押し、電源を入れます。

ヒーターランプ（グリーン）が点滅から点灯へ変わるまで放置してください。

点灯後ご使用いただけます。

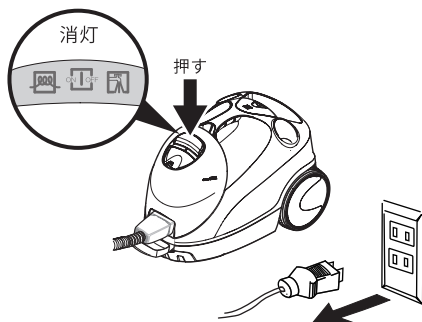


注意

■作業を中断した場合（約1分間以上）
再び洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてホース内のお湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行ってください。

■作業を中断（約1分以上）した場合、
スチームホース内にお湯がたまり、
再度使用する際にノズルから噴き出る場合があります。

⑨ 作業を終了する場合



①スチームレバーロックを後方にスライドし、ロックしてください。

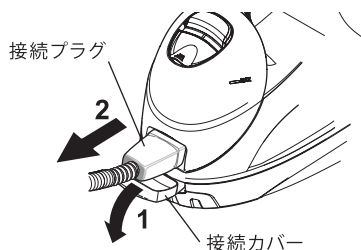
②スイッチを押し、電源を切ります。
ランプが消えるのを確認してください。

③給水タンクを取り外し、水を捨ててください。

④電源プラグを持ちコンセントから引き抜いてください。

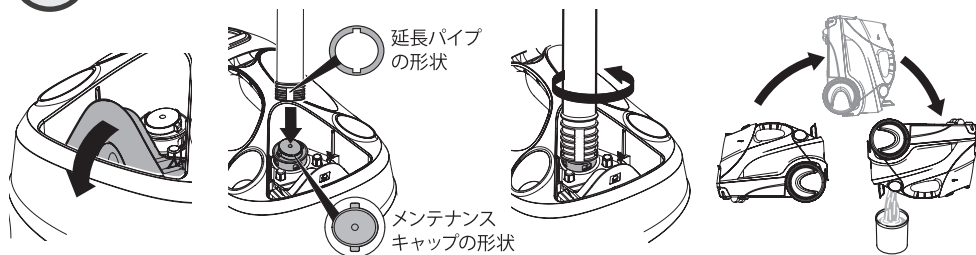
⑤3時間以上放置してください。
（ボイラーが約 60 度まで下がります）

⑥ホース一体型ヘッドを取り外します。
接続カバーを下げ、接続プラグを手で持ち引き抜いてください。



使い方 「作業を中断、終了する場合」

10 ボイラーの排水とメンテナンスキャップの確認



メンテナンスキャップのカバーを開けてください。

メンテナンスキャップの爪と延長パイプの溝を合わせてください。

延長パイプを回しメンテナンスキャップを取り外してください。

前方を持ち上げ逆さまにしボイラーの残水を捨ててください。

ボイラーの排水は、「⑨作業を終了する場合」の手順に従って、電源を切り3時間以上放置した後に行ってください（ボイラーが約 60 度まで下がります）。

本体が熱いうちにメンテナンスキャップを開けると、お湯が噴き出しヤケドを負う場合があります。

※使用後は毎回ボイラーの水を排水してください。

●ケガ防止のため保護手袋を用意してください。

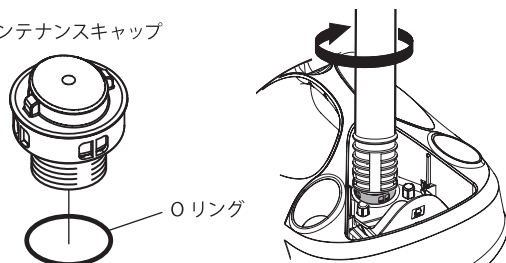
<ボイラー排水の手順>

- ①ホース一体型ヘッドを取り外してください。
- ②給水タンクを取り外してください。
- ③メンテナンスキャップのカバーを開けてください。
- ④メンテナンスキャップの爪と延長パイプの溝を合わせてください。
- ⑤延長パイプを手で回しメンテナンスキャップを取り外してください。
- ⑥前方を持ち上げ逆さまにしボイラーの残水を捨ててください。

<メンテナンスキャップの確認>

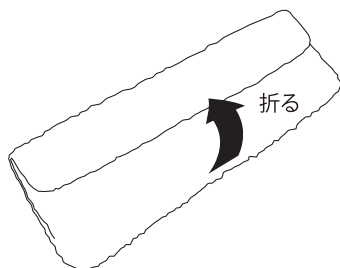
- ⑦Oリングに亀裂・割れが無いか確認してください。（Oリングは根元の溝に装着されています）
- ⑧傷・変形が生じている場合は交換した後取り付けてください。
- ⑨メンテナンスキャップを手で締め込んでください。
- ⑩延長パイプを差し込み増し締めしてください。
- ⑪凍結しない屋内で保管してください。

メンテナンスキャップ

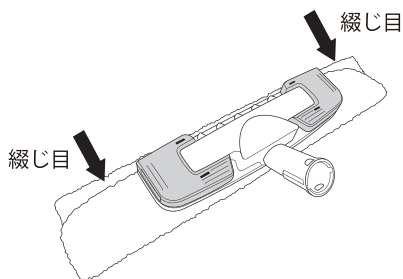


11 クロスの上手な取り付け方

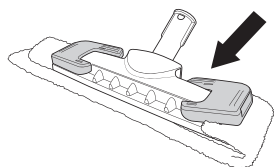
フロアノズルのクロスクリップを上げ、三つ折にしたクロスの片方を挟み、クリップを下げる。もう片方のクロスの端をひっぱりながら固定クリップに挟み固定する。



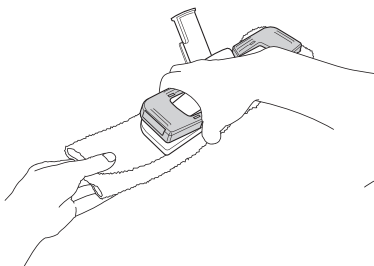
クロスをフロアノズルのサイズに合わせて3つ折りにする



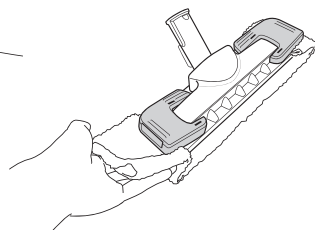
縫じ目をフロアノズルの底面側にする



押すとクリップが上がる

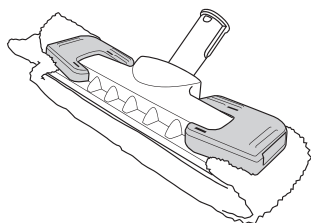


クロスの端を引っ張り、
クロスを張った状態にする



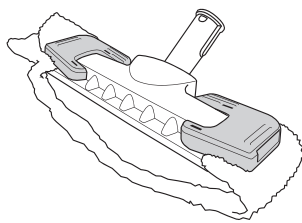
なるべく緩まないようにクロスを
クリップに押し込みながら
挟む

良い例



装着したクロスに緩みが無い

悪い例



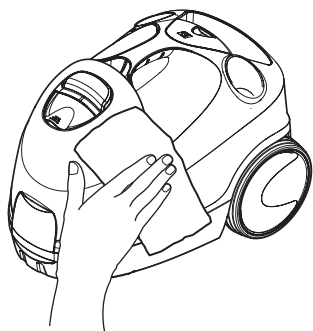
クロスが緩んでいる
緩みがあるとよれ易い



注意

クロスクリップに指を
差し込まない様に注意
すること
クロスクリップ部分は、
クロスが脱落しない
ように鋭くなっています。

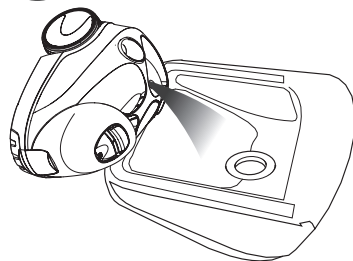
⑫ 本体のお手入れ



ぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞って拭き取ってください。

使用したカバー（ハンドブラシ用）やクロス（フロアノズル用）は、中性洗剤で洗い、乾かしてください。

⑬ ボイラーのすすぎ （使用10回ごと）



スケール（湯あか）の付着を予防するために、ボイラーをすすいでください。

すすぎの目安：使用10回ごと

使用を重ねていくとボイラー内部にスケール（湯あか）が付着し、温度が上がりにくくなります。また、スケールの付着は、故障の原因にもなります。

定期的なお手入れでスケールの付着を防ぎ、安全にご使用ください。

すすぎ方

- ①スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、本体を3時間以上放置し冷却してください。
- ②給水タンクを取り外してください。
- ③ホース一体型ヘッドを取り外してください。
- ④メンテナンスキャップを外し、ボイラーの残水を全て捨ててください。
- ⑤ボイラーに水を入れ本体をよく振り、その後水を捨ててください。（メンテナンスキャップは取り付けずに行ってください。）すすぎを3回繰り返してください。
- ⑥メンテナンスキャップを取り付けてください。

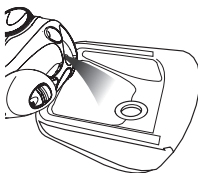
※水がこぼれないようにご注意ください。

※本体カバーの端などでケガをしないように十分ご注意ください

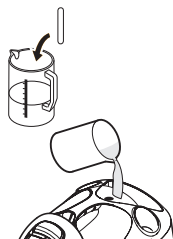
14 ボイラーの洗浄方法



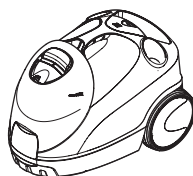
電源を抜いてください



タンクに残っている
水を捨てる



ボイラー洗浄剤を
溶かしてボイラー
に注ぐ



8時間放置
※加熱しないで
ください

- ①手順「⑬ボイラーのすすぎ」を参照して、ボイラー内をすすいでください。
(メンテナンスキャップは取り付けしないでください。)
 - ②ボイラー洗浄剤(スケール除去剤)を1本用意してください。
 - ③容器に 500cc のぬるま湯を用意し、ボイラー洗浄剤(スケール除去剤)を入れ、溶かしてからボイラーに注いでください。
 - ④その状態で約8時間放置してください。
 - ⑤8時間後ボイラーの水を捨て、清水で3回以上すすいでください。
すすぎが不十分な場合故障の原因となります。
 - ⑥メンテナンスキャップを取り付けてください。
 - ⑦室内に保管してください。
- ※余ったボイラー洗浄剤(スケール除去剤)は、湿気のない場所で保管してください。
- ※水がこぼれないようご注意ください。
- ※本体カバーの端などでケガをしないように十分ご注意ください。

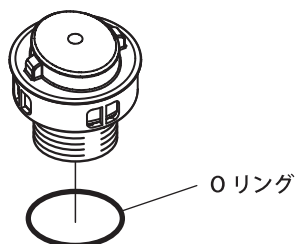
**ボイラーの洗浄は50回毎または、
ボイラー内に湯あかが付着した時
に洗浄してください。**



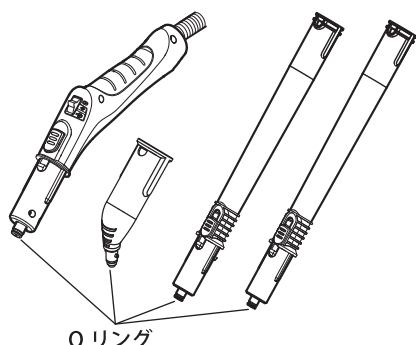
注意

- お手入れをする場合には必ず機械が冷めた状態で行うこと
- スイッチを切り、電源プラグを取り外した状態で行うこと
- P13「ボイラー洗浄剤(スケール除去剤)について」をよく読んで使用すること

15 メンテナンスキャップと Oリングの交換



16 アクセサリー接続口の Oリングについて



Oリングに亀裂・割れが無いか確認してください。(Oリングは根元の溝に装着されています。)

傷・変形が生じている場合は新しい O リングと交換してください。

メンテナンスキャップ

約500作業時間ごと交換
(作業約500回ごと)

メンテナンスキャップ O リング

約200作業時間ごと交換
(作業約200回ごと)

アクセサリ (ホース一体型ヘッド・ノズルヘッド・延長パイプ) 接続口の O リングが装着されていない、もしくは損傷している場合、新しい O リングを装着してください。



注意

- メンテナンスキャップ、O リングが損傷するとスチームもれが発生する恐れがあります。
- 規定時間以内でも損傷がある場合は交換してください。

■補修部品のお買い求めは販売店あるいはケルヒャー カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

17 定期点検について

定期点検



500作業時間後の点検

約500作業時間*（作業約500回）
ごとに有償点検をお受けください。

1000作業時間後の点検

本機の耐用時間は（ボイラー寿命）は、
約1000作業時間*（作業約1000回）
です。

※作業時間とは、保温状態の累積時間です。

■点検のご依頼は

お買い求めの販売店、ケルヒャー カスタマー
サービスセンターまでお問い合わせください。



注意

■点検を実施しない場合、メンテナンス
キャップからのスチーム吐出、ボイラー
の加熱不良、過熱、スチーム吐出不良
などのさまざまな不具合が生じ安全作
業ができなくなります。

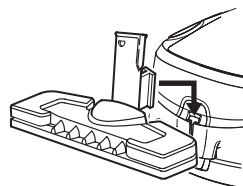
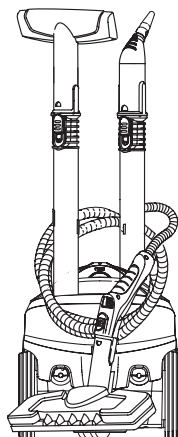
■安全に商品をご使用いただくために、
作業時間の累積が 500/1000 時間を
超えたときにケルヒャーサービスエン
ジニアによる点検をお受けください。

■点検を実施しない場合

蒸気が噴出しヤケドをする恐れがあり
ます。

例：1日2時間程度使用する場合は
半年を目安に有償点検の実施が必要
です。（メンテナンスキャップ、各部
品などの交換）

18 保管方法



フロアノズルは本体後部
のノズルフックに差し込
み、本体に立て掛けるこ
とができます。

アクセサリホール、ノズルフックにアクセ
サリーを収納した後、保管してください。



注意

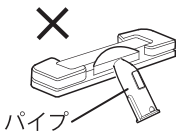
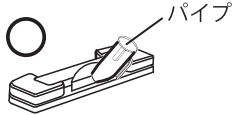
- 保管前に必ずお手入れをすること
- 給水タンクの水を抜き、ボイラーの残
水を捨てた状態で保管すること
- メンテナンスキャップを閉めた状態
で保管すること
- 屋内のホコリのかからない、凍結
しない場所に保管をすること。
凍結した場合には、自然解凍をして
ください。
- 本体を倒したり、立てた状態で保管
しないこと。ボイラーが損傷する
場合があります。

故障かな?と思ったら

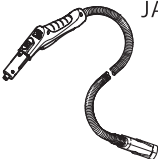
故障かな?と思ったら以下のことをお確かめください。

それでも解決しない場合は、**ケルヒャーカスタマーサービスセンター**までお問い合わせください。(0120-60-3140)

このような時	原因	対処法
スチームが出ない	電源プラグがコンセントに接続されていない	▶ 電源プラグをコンセントに接続してください。
	本体のスイッチが入っていない	▶ スwitchを押し、ヒーターランプ(グリーン)の点灯を確認してください。
	水が不足している	▶ 給水タンクに水を入れてください。
	ホース一体型ヘッドの接続不良	▶ ホースを奥までしっかり差し込んでください。
スチームが弱くなる	連続使用でボイラー温度が低下している	▶ 作業を中断し、ヒーターランプ(グリーン)が点灯するまで待ってください。
スチームが水っぽいお湯が出る	作業を開始した時と中断した場合にスチームホースにお湯がたまる	▶ スチームホース内の湯を布などに向けて排出してください。
スチームレバーが握れない	スチームレバーがロックされている	▶ ロックを解除してください。
本体下部より水漏れする	給水タンクがしっかりセットされていない	▶ 給水タンクがしっかりセットされているか確認してください。
	ボイラーが破損している可能性がある	▶ 使用をただちに中止し、修理センターで点検を受けてください。

このような時	原因	対処法
ホース一体型 ヘッドを本体に 接続できない	電源が入っている	▶ 電源を切った状態で接続してください。
	Oリングのすべりがわるい	▶ ホース一体型ヘッド接続部の O リングに軽く水を塗ってください。
メンテナンス キャップから スチームが漏れる	メンテナンスキャップが 閉まっていない	▶ コンセントを抜き、本体を3時間以上放置した後、メンテナンスキャップを閉めてください。
	メンテナンスキャップの Oリングが損傷している	▶ Oリングが損傷している場合は交換してください。
電源ランプ、 ヒーターランプが 点灯しない	本体のセンサーがはたらいていない またはランプが切れている	▶ 修理センターで点検を受けてください。
スイッチが 入らない	ボイラーの水が不足している	▶ いったんスイッチを切り、給水タンクに水を入れてからスイッチを入れてください。
	制御装置が作動している	▶ 修理センターで点検を受けてください。
ノズルなどの 接続が固い	接続部分の O リングが硬化、 または損傷している	▶ 接続が固い場合は水をつけるとスムーズに接続できます。 硬化損傷の場合は交換してください。
フロアノズルの パイプが外れる	フロアノズルはパイプを下向き にすると外れます 	▶ フロアノズルのパイプ部分は必ず上向きに使用してください。 
電源コードが 熱くなる	細い延長コードを使用している	▶ 15 A 仕様のコードを使用してください。またはコンセントから直接電源を取ってください。

補修部品

フロアノズル 注文番号：2.885-142.0 JAN コード：4039784401778  従来品に比べ、汚れ除去率が35%向上しました。	ハンドブラシ 注文番号：2.884-280.0 JAN コード：4039784048065  壁やソファの背もたれなど、壁面のお掃除にカバーを付けてお掃除します。
ノズルヘッド 注文番号：4.130-431.0 JAN コード：4039784444645  先端にブラシ、スポットノズルを取り付けることができます。	ノズルセット (スポットノズル+延長ノズル) 注文番号：2.884-282.0 JAN コード：4039784048089  スチームを集中して出すことのできるスポットノズル（赤）と、ノズルを延長するための延長ノズル（黒）のセットです。
窓用スクイジー 注文番号：4.512-056.0 JAN コード：4039784847590 	延長パイプ 注文番号：4.127-024.0 ※1本での注文番号です。 JAN コード：4039784453395  1本。長さは50cm。フロアノズルなどを使用する際、楽な姿勢でお掃除できます。
ホース一体型ヘッド 注文番号：4.321-992.0 JAN コード：4039784523838 	延長パイプ、 ホース一体型ヘッド用Oリング 注文番号：6.362-922.0 JAN コード：4002667185829  ノズルヘッド用Oリング 注文番号：6.362-186.0 JAN コード：4002667181494
メンテナンスキャップ 注文番号：4.580-775.0 JAN コード：4039784590632 	メンテナンスキャップ用Oリング 注文番号：6.363-468.0 JAN コード：4039784391277 

オプションアクセサリー

※仕様変更等により商品の形状が図と一致しない場合があります。
 ※注文番号は予告なしに変更になる場合があります。

 窓用ノズル 注文番号：4.130-115.0 JANコード：4002667017311 スチームをガラスに吹きかけ、上部に付いたスクイジー（ゴムベラ）で汚れを拭い取ります。	 窓用スクイジー 注文番号：4.512-056.0 JANコード：4039784847590 窓の水滴、汚れを拭い取ります。 ※スチームを出すことはできません。拭い取り専用です。
 スチームターボブラシ 注文番号：2.863-159.0 JANコード：4039784060142 ポイントブラシ先端が小刻みに振動するため、汚れをこすする必要がありません。通常のブラシよりも、洗浄時間を50%削減できます。	 ブラシ4個組 (赤2個、黒2個) 注文番号：2.863-058.0 JANコード：4002667013191 お風呂場、台所、トイレなど色で使い分けできます。
 カバー5枚組 注文番号：6.370-990.0 JANコード：4002667013122 ハンドブラシ用カバー5枚組のセットです。	 ブラシ(真ちゅう製)3個組 注文番号：2.863-061.0 JANコード：4002667015577 ブラシの毛の部分が真ちゅうでできており、こびりつきのひどい汚れを落とします。
 クロス3枚組 注文番号：6.369-357.0 JANコード：4002667359633 フロアノズル用クロス3枚組のセットです。	 マイクロクロス(キッチン用) 注文番号：2.863-172.0 JANコード：4039784169869  マイクロクロス(お風呂用) 注文番号：2.863-171.0 JANコード：4039784169852 各用途に応じたクロス4枚組のセットです。
 クロスセット 注文番号：6.960-019.0 JANコード：4002667012576 クロス2枚、カバー3枚のセットです。	 RM 511 ボイラー洗浄剤 (スケール除去剤) スティックタイプ(9本入り) 注文番号：6.290-239.0 JANコード：4002667014822 ボイラー内部に付着した湯あかを除去します。 ※使用目安：50回に1回

アフターサービス・保証

保証書

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い保証いたします。

この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■保証の内容

お買い上げいただきました製品を構成する純正部品の材料または製造上の不具合が起きた場合、ケルヒャー ジャパン株式会社本社修理センターで無料修理をいたします。

（この無料修理を保証修理といいます。）

保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。

また、取り外した不具合部品は弊社所有といたします。

保証修理を受けられる期間は新品を購入した日から1年間とします。

■保証できない事項

●修理の際の輸送費用

●次に示すものに起因すると判定される故障は、保証修理いたしません。

- ・取扱説明書の指示に反する使用
- ・保守整備の不備または間違い
- ・弊社が提示している仕様の限界を超える使用
（規定以上の長さの延長コードを使用した場合の電圧降下など、業務などで定格使用時間を著しく超えた連続使用など）
- ・弊社が認めていない改造
- ・純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ・ご使用者の不注意による故障（凍結、ボイラー内への異物混入、落下による故障など）
- ・業務で使用した場合

●次に示すものは保証修理いたしません。

- ・経年変化により発生した不具合
- ・プラスチックカバーなどの自然退色、電源コード、ホースのひび割れ、Oリングの劣化、部材劣化に伴う性能低下など
- ・使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動など）
- ・台風、水害、雪害などの天災による不具合
- ・薬品、塩害などに起因する不具合

●次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・消耗品（油脂、ノズル、メンテナンスキャップ、Oリング、パッキン、バルブ、ホース、ブラシ、バット、クロス、およびこれらに類する消耗品）
- ・お買い上げ販売店以外での修理
- ・点検、清掃、調整、及び定期点検整備
- ・この保証書に示す条件以外の費用補修など
- ・本機を使用できなかったことによる不便さ及び損失など（休業損失、商業損失など）
- ・洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合
- ・正しく操作せずにケガを負った場合

●出張修理はいたしません。

修理はお買い求めいただいた販売店へご依頼ください。

この保証は日本国内で使用される弊社製品のみ適用されます。
海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

保証修理をお受けになる場合は、下記保証書の各項目にご記入いただき、お買い上げいただいた際のレシート／納品書を添付の上、保証修理をお申しつけください。

製造番号は、製品の裏側もしくは後部に貼られている銀色のラベルに記載されています。

ご購入の際に受領されたレシートあるいは納品書と下記保証書を添付の上、お買い上げいただいた販売店にお持ちいただくか、またはケルヒャー ジャパン株式会社本社修理センターまでお送りください。

ご不明な点がございましたらケルヒャーカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

SC 4.100 C		保証期間： 1年		製造番号：	
お買い上げ日　：　平成　　年　　月　　日					
お客様	ご住所：				
	お名前：電話：() -				
販売店	住所：				
	店名：電話：() -				
(故障状況)					

本 社：〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平3丁目2番
TEL：(022)344-3140

ケルヒャーホームページアドレス <http://www.karcher.co.jp>

製品に関するお問い合わせ

ケルヒャー カスタマーサービスセンター

0120-60-3140

受付日 : 月曜日～金曜日 (祝日、当社休日を除く)

受付時間 : 9 : 00～12 : 00 13 : 00～17 : 00

修理品送り先

〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平 3-2

ケルヒャー ジャパン株式会社

本社修理センター 宛

修理品をお送りいただく際には、35ページの保証書に故障状況をご記入の上、必ず同梱してください。

1. 保証書が34～35ページに添付されています。大切に保管してください。
2. 保証書の保証内容、保証規定をよくお読みください。
3. 保証書は、お買い上げ販売店で必要事項を記入したものをお受け取りください。
4. 保証期間は保証書に記載されています。
5. 保証期間終了後の修理につきましては弊社ホームページの「修理・アフターサービス」のページ (http://www.karcher.co.jp/jp/Service/support_hg.htm) をご覧いただくか、販売店もしくは上記ケルヒャー カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。